

令和２年度 学校経営計画及び学校評価

1 めざす学校像

本校は、産業創造系、機械系、電気系の各系がもつ特徴を生かし、伝統と実績を踏まえたものづくり教育を中心とした工業教育を行う。 校訓として、「誠実・剛毅」「自主・創造」「敬愛・協力」を掲げ、健全な生徒の育成を図る。 本校のミッション（使命）は、「地域社会のリーダーとなり得る人格を兼ね備えた、ものづくりのスペシャリストの育成」である。『「地域の宝」となる！』というスローガン（標語）を掲げ、経済産業省が提唱する『社会人基礎力（前に踏み出す力）（考え抜く力）（チームで働く力）』の育成とともに、優れた工業技術や創造性を有する人材を育成する。 1 人権尊重の理念を正しく理解し、豊かな人間性と基本的な生活態度や礼儀、挨拶などの社会性を身に付けた生徒を育成する学校。 2 自ら課題を見つけ出し、他の人々と協働してその解決に主体的に取り組むことのできる、創造性豊かな製品開発のスペシャリストを育成する学校。 3 生徒一人ひとりを大切にした教育を実践し、生徒および保護者から『入学してよかった』『学んでよかった』『卒業してよかった』と言われる学校。 4 地域の「ものづくり教育」の発信源となり、地域に根ざし、保護者や地域の産業界から『地域の宝』と信頼される学校。

2 中期的目標

1 基本的な生活習慣の育成と規範意識の醸成 （１）家庭や地域と連携し、基本的な生活習慣の確立と、社会性や規範意識をはぐくむ。また、課題を早期に発見し中途退学を防止する。 ・退学率を２％未満、遅刻件数を1000件以下とし、令和４年度には、遅刻件数を900件以下とする。 （退学率：H29 2.94％、H30 2.4％、R1 1.2％）（遅刻回数：H29 1073件、H30 1129件、R1 1195件） （２）部活動や学校行事等の活性化を図り、生徒の自尊感情と愛校心を育成する。 ・クラブ加入率を40％以上、令和４年度には、クラブ加入率を45％以上とする。（クラブ加入率：H29 39.1％、H30 42.4％、R1 39.5％） 2 「確かな学力」の育成 （１）教員の授業力を向上させ、魅力的な授業を提供することで、生徒の思考力・判断力・表現力を育成し、主体的に学習に取り組む態度を育てる。 ・授業公開週間を設定し、相互に好事例の共有及び改善点の把握に努め、授業改善を行う。 ・授業理解度を75％以上。また、令和４年度までには、授業理解度を78％以上とする。 （授業理解度：〔普通科〕・〔専門科〕H29 75.8％・71.4％、H30 78.7％・74.8％、R1 76.9％・72.8％） ・授業アンケート結果による総合（設問１～９）スコアを3.18以上とする。また、令和４年度までにはスコアを3.20以上とする。 （授業アンケートスコア〔12月〕：H29 3.21、H30 3.18、R1 3.21） 3 生徒一人ひとりを大切にした教育の推進 （１）工科高校における新たな教育を探求し、習得した技術・技能を基礎とした、イノベーションを生み出す創造力を育成する。 ・各種コンテスト、大会に参加をし、入賞等の成果を上げる。また、資格取得にも積極的に取り組み生徒の自尊心を育成する （２）正しい勤労観・職業観を育成するために、「キャリア教育」・「職業教育」の充実を図り、社会の変化に主体的に対応できる力を育成する。 ・応募前職場見学、インターンシップ、企業見学への参加者を累積で450名以上とする。また、令和４年度までには500名以上とする。 （応募前職場見学、インターンシップ、企業見学参加者累積：H29 377名、H30 459名、R1 510名） ・就職一次合格률을85％以上とする（H29 86.3％、H30 86.7％、R1 86.2％） （３）いじめを防止し、支援が必要な生徒については個性に応じたきめ細やかな支援を行い、生徒に安全で安心な教育環境を提供する。 ・入学満足度を72％以上、登校満足度を70％以上、令和４年度までには、入学満足度を74％以上、登校満足度を72％以上とする。 （入学満足度：H29 72.0％ H30 68.1％、R1 70.8％）（登校満足度：H29 68.1％ H29 69.2％、R1 64.7％） ・必要に応じて「個別の教育支援計画」・「個別の指導計画」を作成し、一人ひとりの個性に応じた指導を行う。 4 地域と連携した開かれた学校づくり （１）学校説明会等広報活動を積極的に行い、学校の魅力の発信を効果的に実施する。 ・オープンスクールを年２回開催し、参加者を350名以上とする。また、その他の説明会を年12回以上開催する。 （オープンスクール参加者：R1 374名）（その他説明会開催回数：R1 11回） （２）「地域産業連携重点型」工科高校として、地域企業や、行政組織等と連携してイベントに積極的に参加をする。活動を通して、生徒のものづくり技術やコミュニケーション能力の向上を図る。 ・企業等連携を15社以上、学校PRを5回以上とする。（企業等連携：H30 25社、R1 20社）（学校PR：H30 11回、R1 6回） （３）校内のICT化を推進し、業務の効率化とともに会議時間の縮減を行い、教員の負担軽減を図る。また、効果的な情報発信をおこなう。 ・学校Webページの更新を150回以上とし、令和４年度には、学校Webページの更新を200回以上とする。 （学校Webページの更新：H29 95回、H30 257回、R1 198回）

【学校教育自己診断の結果と分析・学校運営協議会からの意見】

学校教育自己診断の結果と分析〔令和２年12月実施分〕	学校運営協議会からの意見
【総合的な項目について】 ○総合的な項目については、生徒・保護者とも大幅な上昇がみられ、高い評価を得ることができた。教育活動全般について高い満足度を得ることができている。 ・《生徒評価》 「この学校に入ってよかった 75.5％（＋4.7％）」 「学校へ行くのが楽しい 73.4％（＋8.7％）」 ・《保護者評価》 「佐野工科に行かせて良かった 96.5％（＋1.7％）」 「子どもは学校へ行くのを楽しみ 81.5％（＋6.7％）」 ・《教員評価》 「生徒や保護者の願いにこたえている 66.7％（＋0.7％）」	第1回 令和２年7月16日（木） 15：30～17：00 ○生活指導部の取組で遅刻を改善させるためのポイント制について、早朝登校指導とはどのような内容か。 ○要望としては指導に従って早朝登校した生徒に対しても、ぜひ声をかけながらケアをしてやってほしい。 ○新型コロナ感染の臨時休校に対して授業日数確保はどのように行っているのか。 ○オンライン授業への取組は。 ○生徒一人1台のPCを泉佐野市では予算だてしているが、佐野工科高校ではどうか。 ○例年、商工祭への参加にお礼。このような時期であるが、可能な限り、資格取得や大会などに参加活躍を望む。 ○清掃活動など地域に対してのボランティア活動について取組はあるのか。 ○資格取得の時期などの変更はどのようになっているのか。またそれに向けての学習はできているのか。

【学習指導について】 ○授業に対する生徒の評価については、専門系と普通教科で評価が分かれた。普通教科は増加し、高い評価となったが、専門系の座学については減少し、今後改善の取り組みが必要と考えられる。 一方、保護者の評価は大きく上昇し、また教員の評価においても著しい上昇がみられた。 ・《生徒評価》 「普通科目の授業はわかりやすい 80.1%（＋3.1%）」 「専門科目の授業（座学）はわかりやすい 67.9%（－4.8%）」 「実験・実習などの授業はよく学習できている 82.2%（＋1.1%）」 ・《保護者評価》 「子どもは、授業が分かりやすく楽しいと言っている 68.0%（＋7.9%）」 ・《教員評価》 「到達度の低い生徒に対する学習指導 50.0%（＋10.0%）」 「学習意欲の高い生徒に対する学習指導 50.0%（＋8.0%）」 「本校の工業教育は現状のままでよい 35.4%（＋12.9%）」 【生徒指導等について】 ○生徒指導に関する項目においては、おおむね良好な結果であった。多くの項目で向上がみられる。今後、さらに生徒の納得感を高める対応等を進めることが必要と思われる。 ・《生徒評価》 「いじめについて真剣に対応してくれる 83.5%（＋4.7%）」 「命の大切さや社会のルールについて学ぶ機会がある 82.6%（＋0.6%）」 「先生の指導は納得できる 57.1%（－2.1%）」 ・《保護者評価》 「いじめや差別を許さず、厳しく対応 89.8%（＋4.9%）」 「学校の生徒指導の方針に納得できる 84.0%（＋3.7%）」 「生命を大切にす心や社会ルールを守る態度を育成 90.8%（＋3.2%）」 ・《教員評価》 「いじめの際の体制が整っている 64.6%（＋22.6%）」 「組織的に対応できる体制 70.8%（＋2.8%）」 「家庭との密接な連携 72.9%（－1.1%）」 「カウンセリングマインドを取り入れた生徒指導 43.8%（＋5.0%）」 【進路指導等について】 ○生徒、保護者ともに、進路に対しての取り組みについては、昨年度と大きな変化はなく、高い評価を維持している。 ・《生徒評価》 「進路のことを考えてこの学校に入学 81.7%（＋1.2%）」 「卒業後、進学したい学校や就きたい職業がある 65.5%（－1.8%）」 「将来の進路や生き方について考える機会がある 78.4%（＋0.3%）」 「進路希望に応じた授業が選択できる 83.3%（－2.3%）」 ・《保護者評価》 「進路や職業について適切な指導 94.1%（＋0.5%）」 ・《教員評価》 「興味・関心・適正に応じて進路選択、きめ細かい指導 62.5%（＋4.5%）」 【その他の項目について】 ○新型コロナウイルスの影響はいくつかの項目でみられ、生徒や教員の行事に対する評価は大きく低下した。 一方、このことを含めた学校と家庭の連携においては、今年度様々な手法を用いた情報発信を行った結果、保護者からの評価は大きく向上し、学校行事への参加率も向上するなど信頼関係の構築に寄与したと思われる。 ・《生徒評価》 「文化祭、体育祭、修学旅行は楽しく行えるよう工夫 65.2%（－4.9%）」 ・《保護者評価》 「家庭への連絡や意思疎通を積極的に、きめ細かく 80.1%（＋9.3%）」 「学校は教育情報について、提供の努力をしている 87.2%（＋10.6%）」 「学校の授業参観や学校行事に参加したことがある 58.2%（＋11.0%）」 ・《教員評価》 「教育活動について、教職員で日常的に話し合っている 54.2%（－1.8%）」 「学校行事が生徒にとって魅力のあるよう工夫・改善 43.8%（－12.3%）」	○産業創造系のコンテストについても成果を聞いている。コロナの影響で取組がなくなると次の機会がなかなか得られないものもあるが、なんとか生徒たちが喜びを得られるよう頑張っている。 ○近年の離職率は大卒3割、高卒4割との情報があるが、これに対しては何か対策をしているのか。 第2回 令和2年11月【紙面開催】 ○遅刻者数、懲戒件数、転退学者数が減少し、クラブ加入率も増加しており、特に生徒指導面で充実した学校運営ができていると思う。 ○求人の減少で、企業は即戦力で人材教育の行き届いた学生を希望されており、本校の合格率に繋がっていると感じる。 ○コロナでモノづくりの発表の場が少なくなったので、是非校内でも発表の場を作って頂き生徒の活躍の場を提供してほしいと思う。 ○新型コロナの影響で就職難と言われる中、例年と遜色ない結果は教員の皆様のご協力とご指導、また生徒の努力だと感じている。ご尽力いただきありがたい。 ○職種の割合にコロナ禍の影響があったか。雇用条件に変化は無かったか。 ○遅刻者数が激減しているなど日頃の教育の成果が数字となって表れているものと思われる。特に2年生は本来、中だるみする学年ですが目を見張る成果がだせていると思われる。これらは懲戒件数や離学者数の改善にも如実に表れており、御校の教育の質が向上しているといえる。あわせてクラブ加入者割合も増加しており担任の先生がたのご尽力も見て取れるものであると思われる。 ○求人状況についてはコロナ禍により求人者数が全国的に低迷するなか、500件を超える求人があるということは専門高校として社会から評価されていることの証だと考えられる。すでに85.3%の内定率ということですからこちらも素晴らしい数字である。3年生担任団、進路指導部の先生方には引き続きご尽力いただけるようお願い申し上げます。 ○授業アンケートについては些か低下傾向にあるが、これもコロナ禍で思うように授業時間が確保できないことに起因するものもあろうかと思われる。資料にもあったように第2回の結果を見て判断したいと思う。 ○ものづくりに関する大会・コンテストが中止になっていることは大変残念なことである。まだこの後機会があるものが残っているということであるので是非積極的にご指導いただくようお願い申し上げます。特に先行きの見えない現在の社会においては主体的で創造的な人材が求められる傾向にある。モノづくりは生徒の主体性・創造性を引き出す効果的な教育方法であるので何卒よろしくようお願い申し上げます。 ○校長先生の学校経営がこの4年間でたいへん成果を上げていると思う。 ○目ざす学校像の中に、「ものづくり教育の発信源」となっている、地域に根差した「地域の宝」と信頼される学校づくりをスローガン掲げていることに、地元産業界として心強く、期待をしている。 第3回 令和3年2月18日（木） 15：30～17：00 ○授業理解度について、工業科目の座学に関するアンケート結果の数値が低くなっている要因は何か。 ○工業の科目では覚えることが多く、子どもにとっては辛く楽しくないと感じるのかもしれないが、身にはついていると思う。そのおかげで資格試験にも合格しているので、アンケート評価とは矛盾する部分があるのかもしれない。 ○プリント類が保護者に届きにくいという声があり、ここを何とかしていただければ、保護者側の理解協力が増えるのではないか。 ○休校期間の遅れを取り戻そうとしたスケジュールの調整や生徒の心のケアなども連携をもって尽力されたことがわかった。検定に関しては商工会議所でもコロナ感染防止対策のため、人数制限等で受けられなくなる場合もあったりするので、そのような逆境を乗り越え、頑張らせるなど資格取得の取組によく対応されたと思う。 ○生活指導部の懲戒件数の変化に伴い、以前と比較して生徒の様子は落ち着いてきているのか。 ○インターンシップ参加の生徒2名の状況を説明してほしい。 ○今年度の就職状況について商工会議所の認識はどうか。 ○商工会議所としては中小企業との関連が強いのでそちらでの把握になるが、コロナ禍であっても中小企業は人手不足があり、資格を持つ即戦力を求めるので、工科高校は求人数維持ができているのではないかと思う。 ○入試倍率についてはどのように予想できるか ○各中学校に説明に行くような取組はあったのか。 ○昨年開催できなかったイベントの商工祭について、今年度は9月実施の方向で検討していくので次年度また参加を募りたい。 ○南海電鉄に提供された作品（革細工）については要望をうけて行ったのか。 ○生徒会など生徒たちによる制度改革（校則など）の提案などはなかったのか。 ○保護者にプリント類が渡りにくい点の改善策に、ICTを活用することは検討できないか。 ○GIGAスクール構想の計画はどの程度進んでいるのか。 ≪まとめ≫ 『令和3年度「学校経営計画及び学校評価」』について、委員一致で承認がなされた。
---	---

府立佐野工科高等学校

3 本年度の取組内容及び自己評価

中期的 目標	今年度の重点目標	具体的な取組計画・内容	評価指標	自己評価
1 育 成 と 規 範 意 識 の 醸 成	（１）家庭や地域と連携し、基本的生活習慣の確立と、社会性や規範意識をはぐくむ。また、課題を早期に発見し中途退学を防止する。 （２）部活動や学校行事等の活性化を図り、生徒の自尊感情と愛校心を育成する。	１）・日常的に遅刻、頭髪、服装等についての指導を行う。また、定期的に全校的な指導を実施し、規範意識の向上を図る。 【生活指導部】【担任】 ・各学期に懇談週間を設定し、家庭と生徒情報を密に交換し、課題の早期発見に努める。 【生活指導部】【担任】 ２）・新入生および、中学生に対してクラブ体験週間を実施し、入部を促進する。 【生活指導部】【担任】	１）・退学率 ２％未満（Ｒ１ 1.2％） ・遅刻数 1000 件以下（Ｒ１ 1195 件） ・懲戒件数 30 件以下（Ｒ１ 16 件） ・生徒（社会のルールや命の大切さを学ぶ）80％以上（Ｒ１ 82.0％） ２）・クラブ加入率 40％以上（Ｒ１ 39.3％） ・生徒行事満足度 75％以上（Ｒ１ 70.2％）	１）・退学率 0.6％（◎） ・遅刻数 985 件（○） ・懲戒指導件数 12 件（◎） ・生徒社会やルール 82.6％（◎） <u>〔目標を大きく上回った〕</u> ２）・クラブ加入率 51.7％（◎） ・生徒行事満足度 65.2％（△） <u>〔クラブ加入率は期待以上の結果であった。行事満足度はコロナの影響で中止等があり達成できなかった〕</u>
	２ 「 確 かな 学 力 」 の 育 成	１）・授業アンケート、外部テストを活用し、各教科や、個人の課題を明確にし、改善を行う。 【教務部】【各系】【普通科】 ・少人数授業を行う。必要に応じて習熟度別授業を実践し、生徒の課題に適切に対応する。（国語、数学、英語の３科目及び家庭） 【普通科】 ・授業見学や研究授業を実施し、好事例の共有を図る。 【教務部】【各系】 ・職員会議、研修等で、授業改善について「目標」「手段」を明確にし、教員で共有する。 【教務部】	１）・授業理解度 75％以上 （Ｒ１〔普通科〕76.9％ 〔専門(座学)〕72.8％ 〔実験・実習〕81.1％） ・授業アンケートスコア 3.18 以上 （Ｒ１〔7 月〕3.14・〔12 月〕3.21） ・授業公開週間 2 回以上実施（Ｒ１ 2 回）	１）・授業理解度 75％以上（○） 〔普通科〕80.1％（◎） 〔専門(座学)〕67.9％（△） 〔実験・実習〕82.2％（◎） <u>〔2 項目は期待以上であったが、専門の座学は達成できず次年度改善に取り組む〕</u> ・授業アンケートスコア 3.18 以上（○） 〔7 月〕3.13・〔12 月〕3.19 ・授業公開 2 回（○） ・教員授業見学数 351 回（○） <u>〔概ね目標が達成できた〕</u>
3 生 徒 一 人 ひ と り を 大 切 に し た 教 育 の 推 進	（１）工科高校における新たな教育を探求し、習得した技術・技能を基礎とした、イノベーションを生み出す創造力を育成する。 （２）正しい勤労観・職業観を育成するために、「キャリア教育」「職業教育」の充実を図り、社会の変化に主体的に対応できる力を育成する。 （３）いじめを防止し、支援が必要な生徒については個性に応じたきめ細やかな支援を行い、生徒に安全で安心な教育環境を提供する。	１）・ものづくりに関する競技、コンテスト等に積極的に応募、出場し、成果を挙げて生徒の自尊心の育成を図る。 【各系】 ・各種検定に積極的に取り組む。 【各系】 ２）・インターンシップ、企業見学など、仕事に触れる機会を多く設定し、正しい勤労観・職業観の育成を図る。 【進路指導部】【各系】 ・進路講話や職業に関する探究活動を推奨し、主体的にキャリアの育成に取り組む態度を育成する。 【進路指導部】【各系】 ３）・「いじめは絶対に許さない」の信念のもと、厳しさの中にも、カウンセリングマインドを持って生徒指導を行う。 【保健人権部】【生活指導部】【担任】 ・年 2 回のアンケートを実施して、問題の未然防止に努める。 【保健人権部】【生活指導部】【担任】 ・学習支援や相談機能を充実させ、中途退学者の防止を図る。 【支援 C】【保健人権部】【担任】	１）・コンテスト応募件数 100 件以上（Ｒ１ 138 件） ・近畿大会・全国大会での入賞（Ｒ１ ロボット相撲、アイデアコンテスト、他） ・資格取得者数 700 以上（Ｒ１ 529 名） ２）・応募前職場見学参加者 90 名以上（Ｒ１ 126 名） ・インターンシップ参加者 30 名以上（Ｒ１ 9 名） ・企業見学 300 名以上（Ｒ１ 375 名） ・就職一次合格率 85％以上（Ｒ１ 86.2％） ３）・いじめ重大事象 0 件 ・生徒入学満足度 72％以上（Ｒ１ 70.8％） ・生徒登校満足度 70％以上（Ｒ１ 64.7％） ・生徒いじめ満足度 80％以上（Ｒ１ 78.8％） ・生徒指導納得度 65％以上（Ｒ１ 59.2％） ・生徒相談満足度 60％以上（Ｒ１ 57.5％） ・保護者入学満足度 95％以上（Ｒ１ 94.7％） ・保護者登校満足度 75％以上（Ｒ１ 74.8％）	１）・コンテスト応募件数（◎）193 件 ・近畿大会・全国大会入賞（○）アイデアコンテスト入賞等 2 点 大会入賞等 2 点 ・資格取得者数 481 名（○） <u>〔コロナの影響で、コンテスト、資格取得の機会が減少した〕</u> ２）・応募前職場見学参加者 ・166 名（◎）延べ人数 ・インターンシップ参加者 2 名（－） ・企業見学 224 名（○） ・就職一次合格率 84.7％（○） <u>〔コロナの影響で通常のインターンシップは実施できず、企業見学も制約のある中工夫して実施をした。〕</u> ３）・いじめ重大事象 0 件（○） ・生徒入学満足度 75.5％（◎） ・生徒登校満足度 73.4％（◎） ・生徒いじめ満足度 83.5％（◎） ・生徒指導納得度 57.1％（△） ・生徒相談満足度 58.2％（△） ・保護者入学満足度 96.5％（◎） ・保護者登校満足度 81.5％（◎） <u>〔期待以上の結果となった。2 項目を除いては、大幅な伸びを示した。〕</u>
	4 地 域 と 連 携 し た 開 か れ た 学 校 つ く り	１）・中学生及びその保護者のニーズに沿った「オープンスクール」を年 2 回実施する。 【総務部】【各系】 ・多様な説明会等を実施し、学校の魅力発信に努める。 【総務部】【首席】 ２）・地域企業、事業所等と連携し、ものづくりにおける技術力の向上を図る。 【各系】 ・行政機関や民間団体等と連携し、様々なイベントに参加して、ものづくりへの関心を高め、生徒の発信力を高める。 【各系】 ３）・積極的に学校 Web ページを活用した学校 PR を行う。 【総務部】【各系】【クラブ顧問】 ・校内の ICT 環境を整備し、情報共有の効率化を図り、教員の事務負担を軽減する。 ・会議時間の短縮を図り、教職員の負担を軽減し、働き方改革を行う。	１）・オープンスクール参加者 350 名（Ｒ１ 374 名） ・その他説明会開催回数 12 回以上（Ｒ１ 11 回） ２）・企業等連携 15 社以上（Ｒ１ 20 社） ・学校 PR（イベント参加）5 回以上（Ｒ１ 6 回） ３）・学校 Web ページの更新 150 回以上（Ｒ１ 198 回） ・職員会議実施時間 1 時間以内 80％以上（Ｒ１ 89％）	１）・オープンスクール参加者 265 名（－） ・その他説明会開催 5 回（－） <u>〔コロナの影響により参加者の制限や開催自体の取りやめがあった。〕</u> ２）・企業等連携 8 社（－） <u>〔コロナの影響により企業との連携に制約を受けた。〕</u> ・学校 PR（イベント参加）9 回（◎） <u>〔コロナの影響下ではあったが、目標を上回った〕</u> ３）・学校 Web ページの更新 155 回（○） <u>〔概ね目標が達成できた〕</u> ・職員会議実施時間 1 時間以内 65％（△） <u>〔会議時間については、コロナへの対応で長くなり、達成できなかった〕</u>